

TOTO

ミドルシレット便器（床排水）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 （安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

⚠️ 注意	
	<p>陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらし、財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。</p>

2 同梱部品の確認

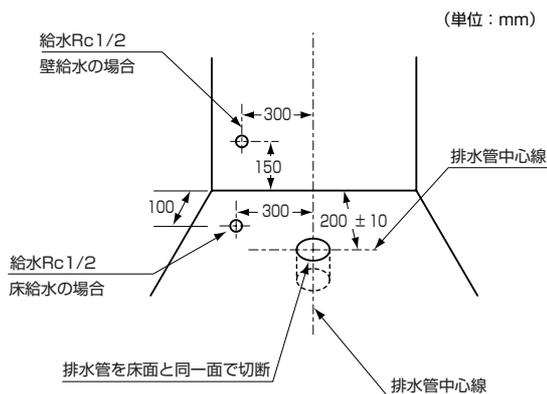
※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名称	個数	略 図	備 考	
便 器	1個			
排水ソケット本体 (ゴムジョイント付き)	1個			
施工説明書	1枚	本 紙		
位置決めシート	1枚			
固定片 (ニール) アット	固定片	1個		
	接着ブロック	1個		
	木ねじ (固定片用)	2個		φ6x40
固定ボルト アット	木ねじ (排水ソケット用)	4本		φ6x60
	ボルト	2個		
	座金	2個		φ22
	パッキン	2個		
サイドパネル	サイドパネル (左)	1個		
	サイドパネル (右)	1個		
止水栓	1個		フィルター付き	
※手動便器洗浄ユニット	1箱		CS860Bのみ同梱	

※ウォシュレットARセットの場合(便器品番CS860BE)、手動便器洗浄ユニットは同梱されておりません。
ウォシュレットAR付属の自動便器洗浄ユニットを使用してください。

3 取り付け前の注意

- 施工前に、給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置にあることを確認する。

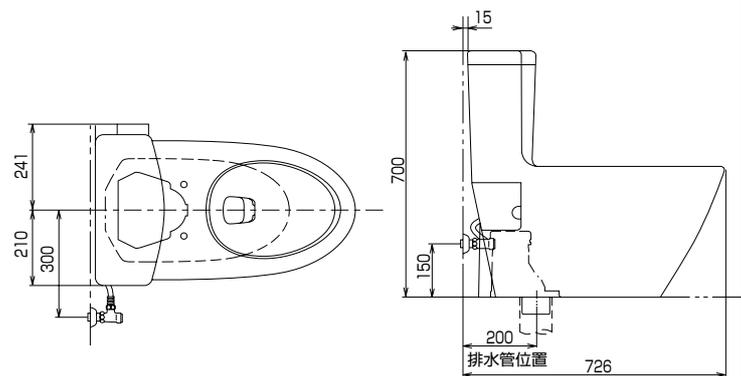


- 便器を設置する床面は水平であることを確認する。
段差がある場合は、便器がガタつくことがあります。

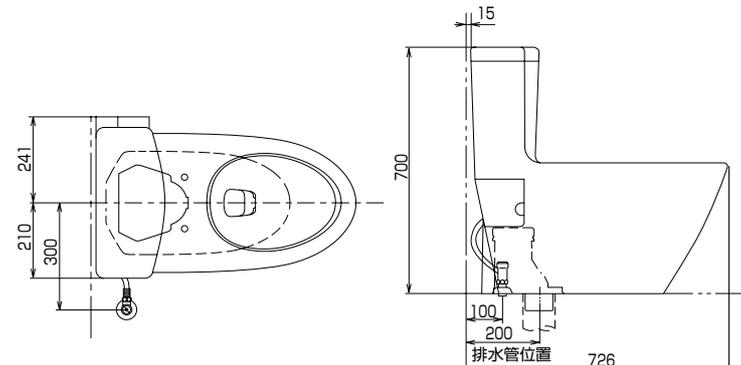
商品セット図

(単位：mm)

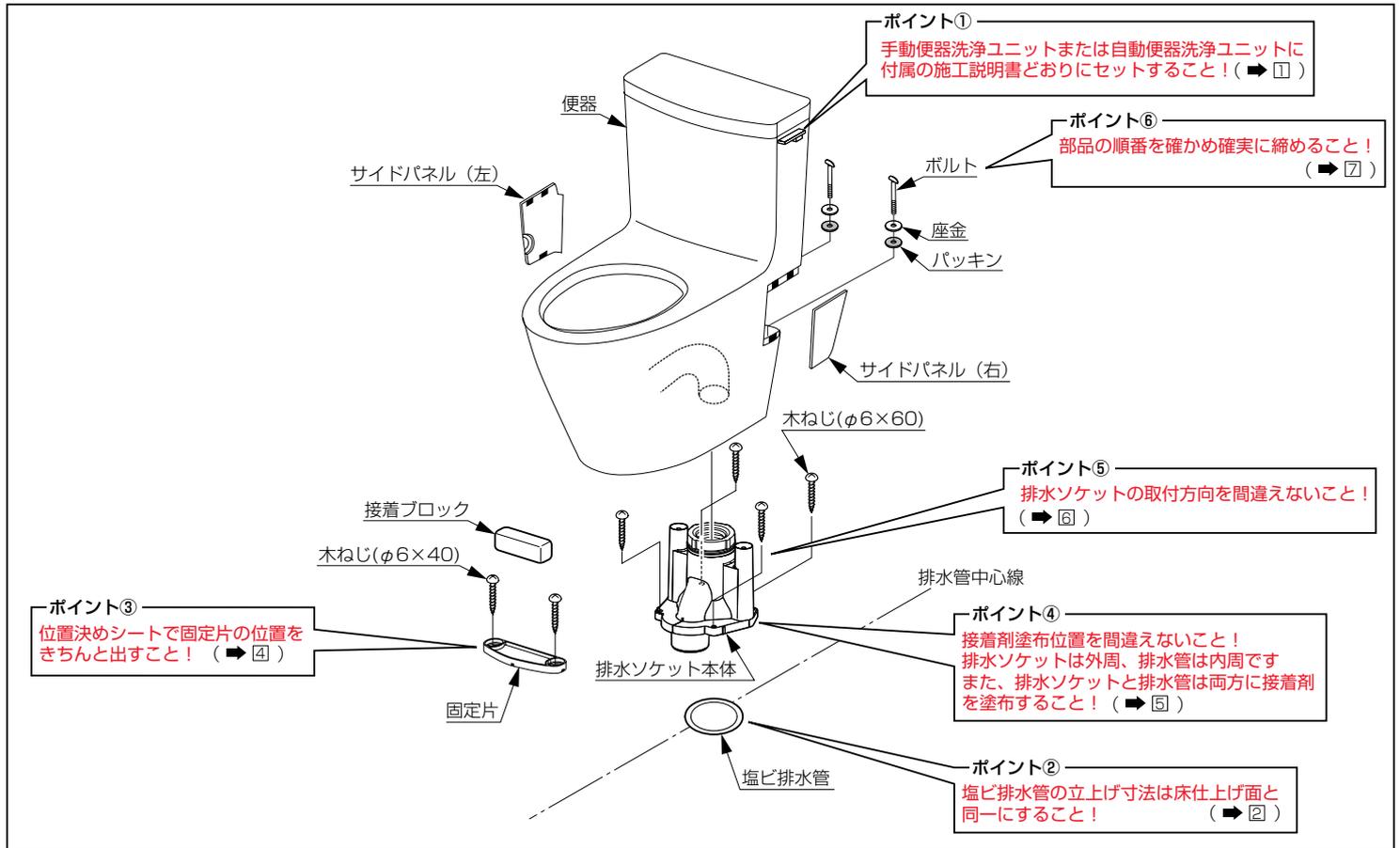
施工完了図（壁給水タイプの場合）



施工完了図（床給水タイプの場合）



4 各部の名称と施工のポイント



5 施工要領

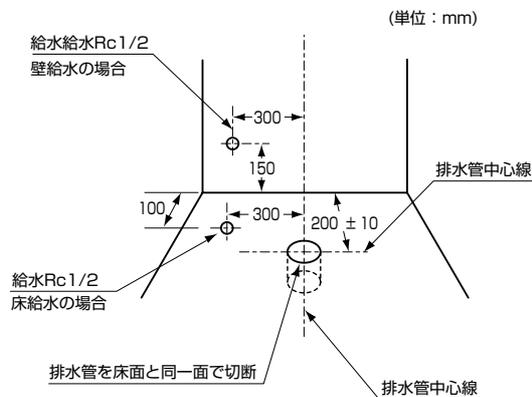
① 洗浄レバーの取り付け

下記の施工説明書に従い、確実に施工する。

- CS860B (手動便器洗浄) の場合：手動便器洗浄ユニットに同梱の施工説明書
- CS860BE (自動便器洗浄) の場合：ウォッシュレットARIに同梱の施工説明書

② 給・排水管の取り出し

- ① 給・排水管を所定の位置に取り出す。
- ② 塩ビ排水管 (VP・VU75、またはVP・VU100) を床面と同一面で切断する。
- ③ 排水管の中心を出して、床面に排水管中心線をけがく。
- ④ 排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。

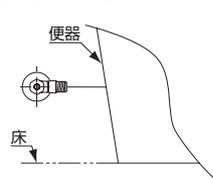


⚠ 注意

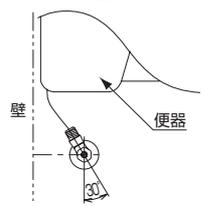
排水管の床仕上げ面からの飛び出しは2mm以下にする
排水管が床仕上げ面より飛び出ると、ソケットが突き上げられ固定が不十分になり、水漏れのおそれがあります。

③ 止水栓の取り付け

〈左壁給水の場合〉



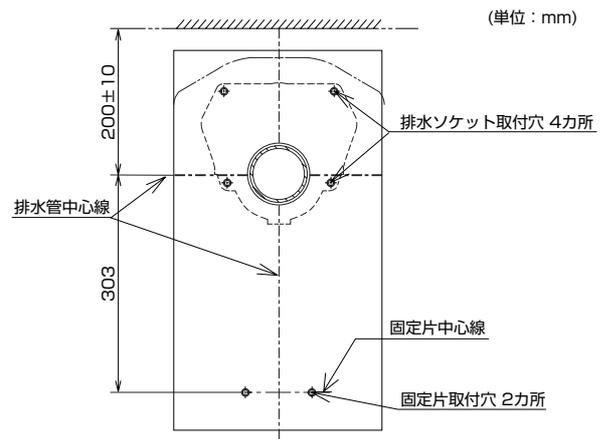
〈左床給水の場合〉



※器具を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

④ 位置決めシートで固定穴位置をけがく

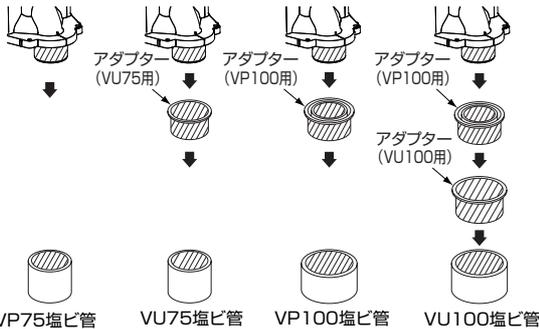
- ① 位置決めシートを排水管の中心線に合わせ床面に置く。
- ② 排水ソケットおよび固定片の取付穴位置、固定片中心線をけがく。



⑤ 排水ソケットの接着

- ①排水管がVP75以外の場合は、アダプターを塩ビ用接着剤で排水ソケットの接続部に接着する。
- ②排水ソケット本体を排水管に仮挿入して、ガタの有無を確認する。
- ③排水ソケットと排水管の接続部に塩ビ用接着剤を塗り、排水管に押し込む。

排水ソケットと排水管の組み合わせと接着剤塗布位置（斜線部）



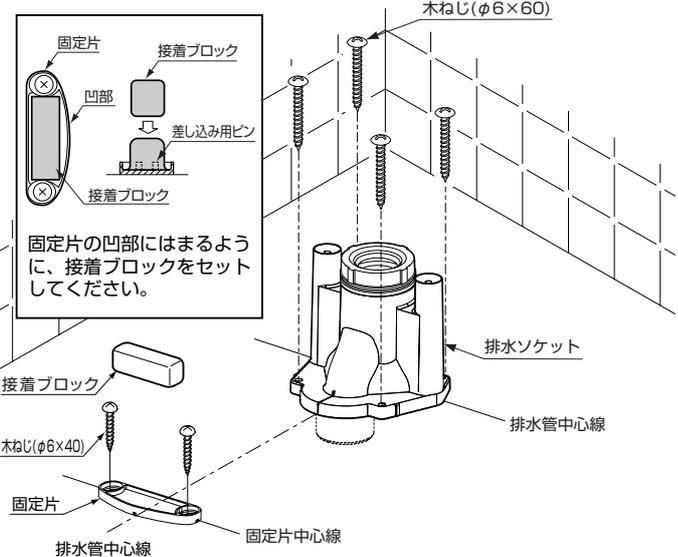
⚠ 注意

- ・排水ソケットとアダプターは塩ビ用接着剤で接着すること
 - ・接着剤の塗布面は汚れを取り除き、排水ソケットとアダプターの両方に接着剤を塗布すること。接着が不十分だと臭気・水漏れのおそれがあります。
 - ・排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去する
 - ・一度接着すると、手直しができませんので注意する
 - ・仮挿入時に排水ソケットと排水管のはめあいがゆるく、ガタがある場合は、必ず「高粘度タイプの接着剤」(HH05062)を使用する
- 塩ビ用接着剤 排水ソケットの外周とアダプター内面に塗布のこと。
- 塩ビ用接着剤 排水ソケットの外周と排水管の内面に塗布のこと。場合によっては「高粘度タイプ」を使用のこと。

⑥ 固定片・排水ソケットの取り付け

- ①排水ソケットの取付穴（4カ所）に木ねじを入れ、排水管中心線に合わせて確実に締める。
- ②固定片を所定の位置に、木ねじにて固定する。
- ③接着ブロックの広い面を下にして、接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。

※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



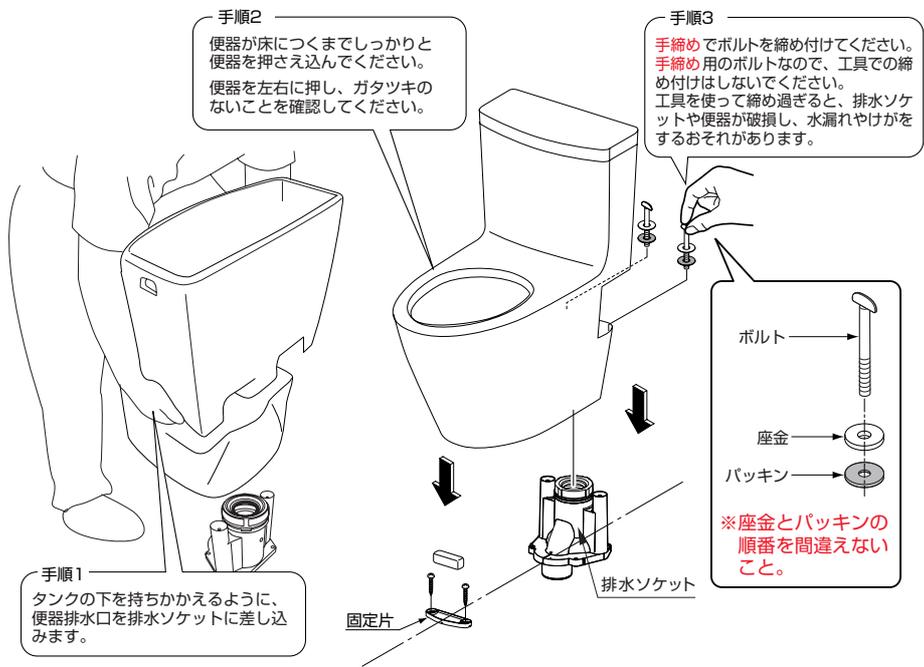
- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を上図のように整えてください。
- ※接着ブロックの広い面はどの面を固定片に取り付けてもかまいません。

⚠ 注意

気温が下がると接着ブロックが固くなることがあるので、このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する

⑦ 便器の取り付け

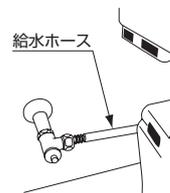
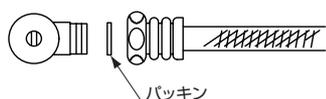
- ①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。
- ②便器が床につくまでしっかりと便器を押さえる。
便器を押さえ込むことで、接着ブロックがつぶされて固定されます。
- ③便器後側の取付穴（2カ所）にボルト・座金・パッキンを差し込み、排水ソケットに便器を固定する。



⑧ 給水ホースと止水栓の接続（普通便座の場合）

- ・給水ホースにねじれ、折れなどのないよう接続する。
- ・パッキンを下図の位置に必ず組み込む。

給水ホースを止水栓に接続する。



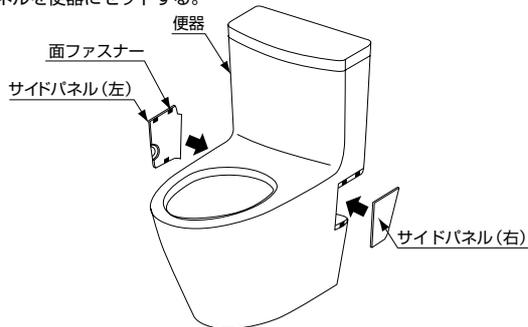
9 便座本体の取り付け

■便座本体の取り付けに当たっては、便座付属の施工説明書に従う。

10 サイドパネルの取り付け

■普通便座の場合

①サイドパネルを便器にセットする。



ポイント

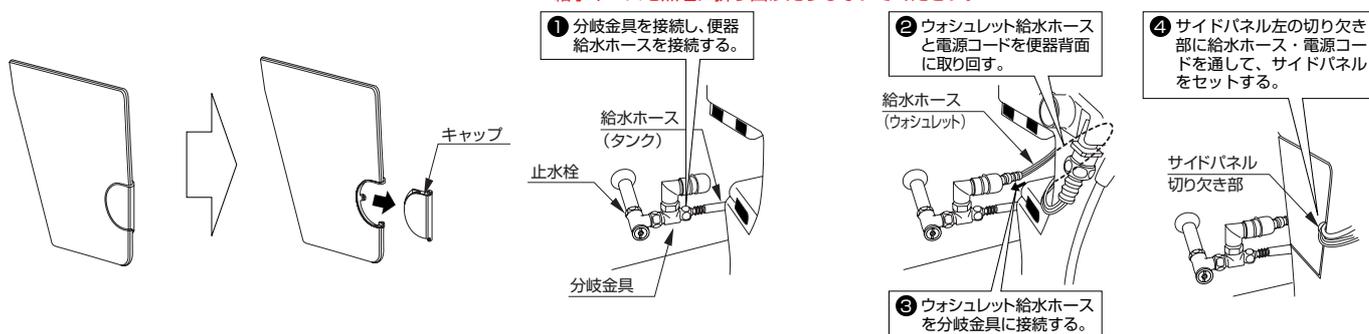
サイドパネルは、赤点線面に合わせるように取り付けること！

■ウォシュレットARの場合

①サイドパネル左のキャップを取り外す。

②給水ホースおよび電源コードを便器後方へ取り回し、サイドパネルをセットする。

※給水ホースを無理に折り曲げたりしないでください。



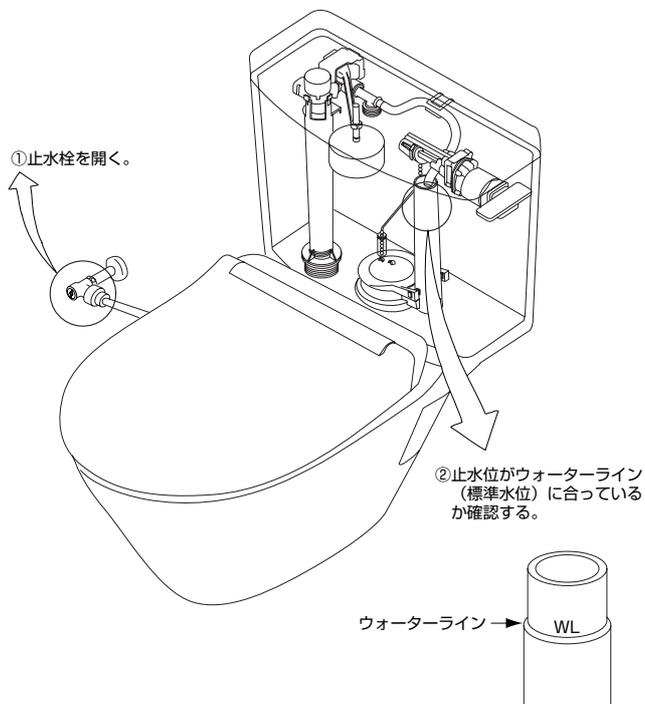
① 分岐金具を接続し、便器給水ホースを接続する。

② ウォシュレット給水ホースと電源コードを便器背面に取り回す。

④ サイドパネル左の切り欠き部に給水ホース・電源コードを通して、サイドパネルをセットする。

③ ウォシュレット給水ホースを分岐金具に接続する。

11 止水の確認



① 止水栓を開く。

② 止水位がウォーターライン(標準水位)に合っているか確認する。

ウォーターライン → WL



止水位がウォーターライン(標準水位)に合っていない場合のみ下図の要領で調整してください。

- ・ 右回し……止水位が下がります。
- ・ 左回し……止水位が上がります。

12 取り付け完了後の確認

2、3度操作して、水漏れなど異常がないことを確認する。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

■便器袴下部と床のすき間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器袴下部周囲に防カビ性の透明シリコンシーラントを塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。

